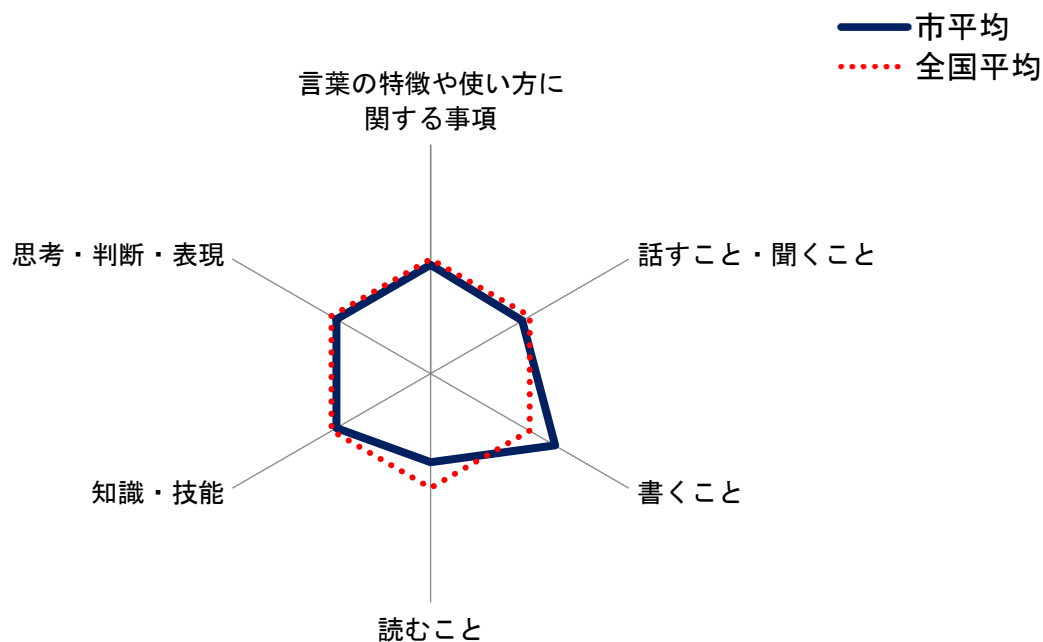
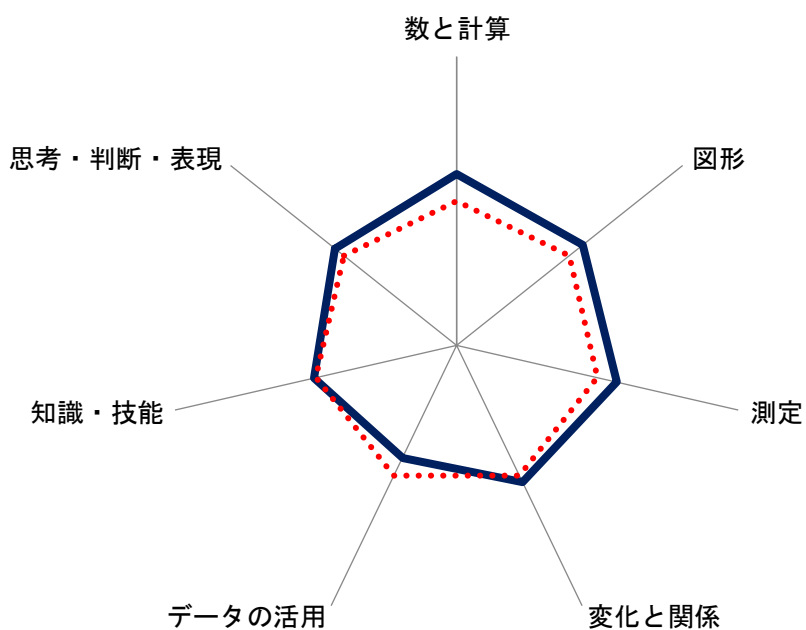


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

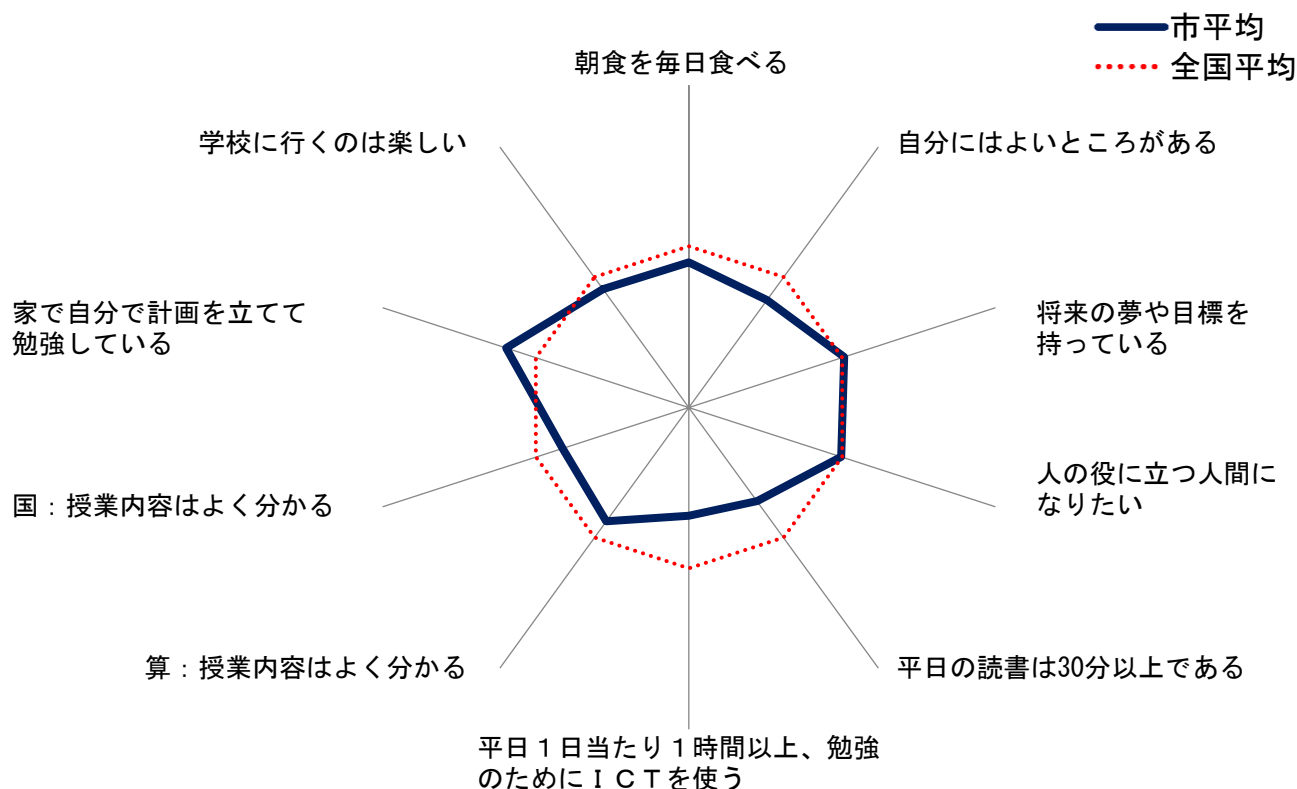
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「書くこと」の項目については全国平均を上回っているが、「読むこと」の項目は下回っている。また、算数は多くの項目が全国平均を上回っているが、「データの活用」の項目については全国平均を下回っており、これに関する学習内容の定着に課題が見られる。更なる学力の定着と向上に向け、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、各教科における知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目は全国平均を上回っている。「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」「国語・算数の授業内容はよく分かる」の項目は全国平均を下回っており、市独自の授業モデルによる授業改善に引き続き取り組むことが望まれる。また、「平日の読書は30分以上である」の項目についても全国平均より低く、子ども読書活動推進計画（第2次）に沿った取組の一層の推進が望まれる。